

平成22年10月5日

ＪＡバンク（ＪＡ／ＪＡ北海道信連）様から寄贈 ５駅にＡＥＤ（自動体外式除細動器）を設置拡大します

ＪＲ北海道では、お客さまに安心してご利用いただけるよう、主要駅にＡＥＤを設置しています。

平成21年度からＪＡバンク（ＪＡ／ＪＡ北海道信連）様から地域貢献活動の一環としてＡＥＤを寄贈していただいております。今年度も引き続き6台寄贈していただくこととなりました。このＡＥＤをもとに設置駅の拡大のほか、既設置駅の取替を実施してまいります。

ご寄贈いただく団体　ＪＡバンク（ＪＡ／ＪＡ北海道信連）

設置駅　白石駅、野幌駅、恵庭駅、旭川駅、北見駅

設置方法

- ・3台を白石駅、野幌駅、恵庭駅の既設ＡＥＤと取替えます。
- ・2台を新駅舎となる旭川駅へ設置（新規設置および取替）します。
- ・1台を北見駅へ新規設置します。

設置時期　平成22年10月15日（金）以降順次設置

その他

- ・平成22年10月15日（金）に旭川駅にて贈呈式を実施予定
- ・旭川駅以外の贈呈式は、11月以降順次実施予定

詳細につきましては、別途プレスリリースにてお知らせいたします。



昨年度、札幌駅でのＡＥＤ贈呈式の様子

< 道内ＡＥＤ設置駅 >



「ＡＥＤ」とは

自動体外式除細動器（Automated External Defibrillator）の略で、心臓の拍動が突然正常なリズムを失い、全身に血液を送り出せない状態に陥った時に、心臓に電気ショックを与えて正常なリズムを取り戻すための医療機器です。